

6～8月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

108,162円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	16,380円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	40,681円
会場費(市民会館)	2,200円
通信費(携帯電話代、折込代)	48,901円
支出計 13/6/3～13/9/2	108,162円

市政を考える 月刊武松

発行日
13/9/2

第136号

16500部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

減る駅乗車人数!?

登録自動車数と駅乗車人数の推移を比較

この20年で様々な環境変化が起きましたが、今回は、市内の登録自動車数と駅乗車人数の推移を比較します。

■93年から2万台増加

図1に小田原市内の乗用系自動車の登録数の推移を示します。合計では、1993年の7.6万台が、ここ数年は、9.6万～9.7万台となり、概ね2万台増加しています。

■小型車から軽自動車へシフト

図1より、年々減少する小型乗用車に反比例し、年々軽乗用車は年々増加しています。4人乗車まででは、横幅は狭いものの、足元や頭上が広い軽自動車も多く、税金や保険料の維持費も相当安くなることから、この傾向はしばらく続きそうですが、これ程台数が多くなると、軽自動車の新たな規制が出てきかねません。なお、普通乗用車(3ナンバー)は、2.5倍に増えていますが、排気量が2000cc未満で

図2 駅乗車人数と登録自動車数の推移

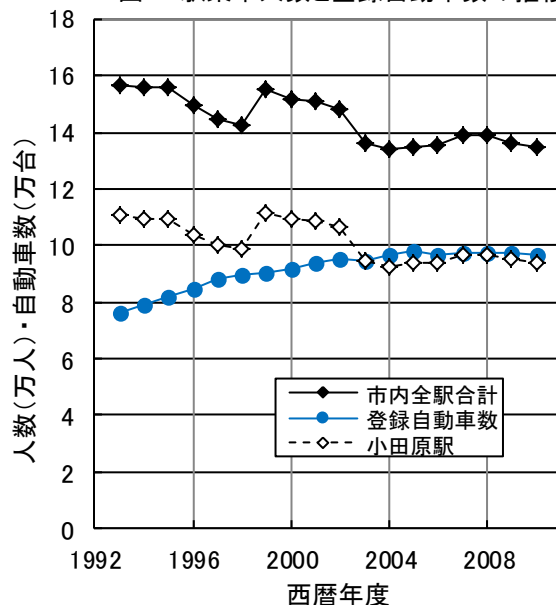
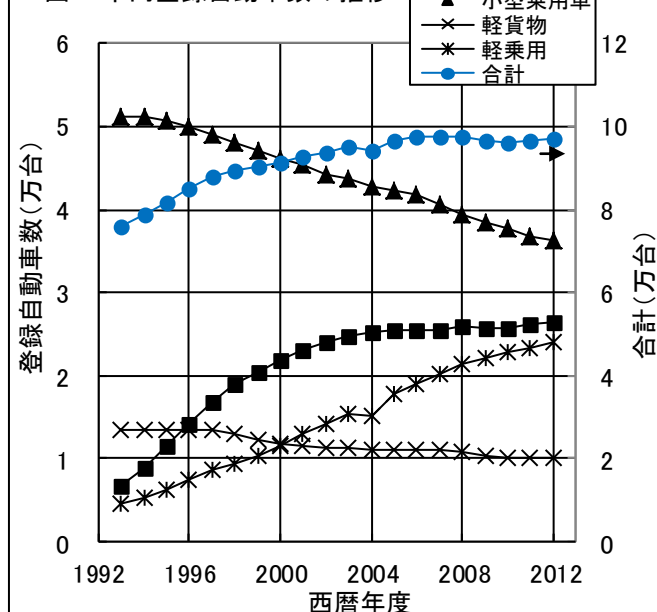


図1 市内登録自動車数の推移



も、車幅1.7m以上のものは、普通乗用車登録となるので、一概に大排気量車が増えたとは言えません。1BOX車も相当増えていることも一因でしょう。

■駅乗車人数は、93年から2.2万人減る

一日当たりの駅乗車人数は、年間乗車人数(乗り換えも含む)を、365または366で除いたものです。これは、登録自動車数と比較するために行ったもので、絶対値よりは相対的な比較として下さい。

一日当たりの市内全駅乗車人数は、93年に比較し2010年では、約2.2万人減少しています。そのうち小田原駅では、約1.7万人も減っています。

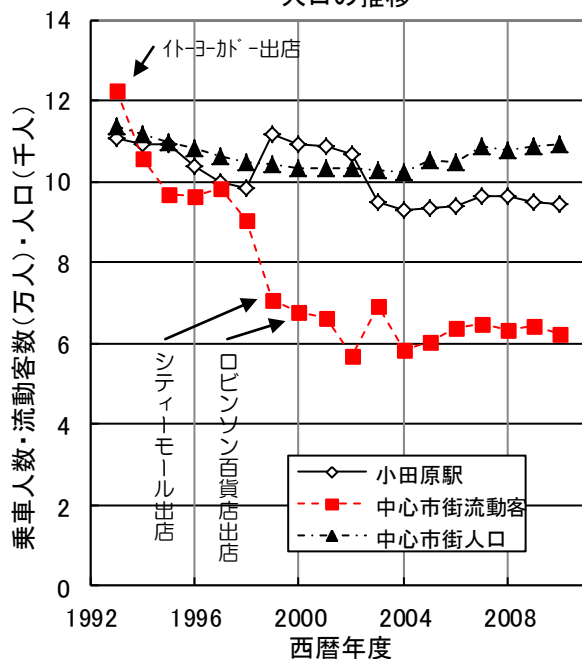
99～02年のデータが凸になっていますが、原因はわかりませんでした。

いずれにしても、定年退職者が増えたことかもしれませんが、電車から自動車へ、さらには小田原駅乗車人数の1.7万人減は、商業環境にも大きなインパクトと考えなければなりません。

裏面に続く

流動客数大幅減!?

図3 駅乗車人数と中心市街地流動客数・人口の推移



前頁のデータに、中心市街地の人口と流動客数を加え分析してみます。

図3には、1993年以降の小田原駅乗車人数、中心市街地人口と中心市街地流動客数の推移を示します。

中心市街地の人口は、減少傾向にあったものの、建築物の高さ規制に伴うマンションの駆け込み建設もあり、横ばいです。

小田原駅乗車人数は、**1.7万人減 (-15%)**ですが、**中心市街地流動客数**は、93年の12.2万人が、10年に6.2万人と半減しています。中心市街地以外的大型店舗進出状況は、93年にイトーヨーカドー、99年にシティーモール、00年にロビンソン百貨店(現西武)などの出店もあり、大きく流動客数が減ったことがわかります。

中心市街地の撤退店舗

98年8月 志澤
01年10月 丸井
07年6月 アミーおだちか
08年4月 長崎屋 → 09年12月 ドン・ホーテ出店

この状態で地下街再開!?

The Voice 皆様から頂いたご意見

日本たばこ跡地のイオン出店に際し、周辺対策は? 久野在住 30代 男性

日本たばこ小田原工場跡地をイオンタウン株式会社が取得しました。自宅が、敷地に隣接しているため、日当たり、騒音や渋滞など心配です。 どのような対応ができるでしょうか?

小田原市としては、できれば工場、そして住居系の進出を望んでいましたが、入札の結果、イオンタウンが取得しました。この工場用地は、工場敷地部分が工業地域で、グラウンドと工場に隣接する住宅地は、第一種住居地域となっています。 **工業地域では、店舗面積1万㎡未満、第一種住居地域は3千㎡未満**となっています。私は、工場全体で、約8万㎡もあるので、分割して複数低層(1~2階)棟が建設されるとみています。ただし現在どのような計画になるかは、まだ固まっていないと聞いています。

久野周辺の方は、商業系の進出に一定の期待がある一方、隣接してお住まいの方は、ご指摘のとおり、日照・騒音・渋滞がご心配のことと思います。 法的に合致している以上、出店阻止はできないので、**要望を明確にすることが大切**だと思います。 日照は、建物と距離。駐車場は、排気音や排気ガス。搬入ルートは、早朝のトラック出入りや待機時のエンジン音。他に空調設備の音。緑地帯設置などポイントがあると思います。 敷地が余裕があるので、ある程度の対応が可能だと思います。 市も住民要望をしっかりと伝えますので、妥当かつ明確な要望を地域でまとめていただきたいと思います。

武松政策研究会からのお知らせ

9月の月例勉強会は、会場の都合で中止いたします。

10月の勉強会は、議会報告会(個人)として

スタートします。



HPIは、**YAHOO!**で「たけまつただし」 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで
月刊武松は**本人が配布**しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、**eメールでも送付していますので連絡下さい。**